



活動期間：2019年4月～2020年3月

2020年6月24日 発行

ケーピー株式会社



はじめに

当社は、2009年6月5日にエコアクション21の認証登録し、環境経営活動を継続しています。

2019年度の活動状況を下記項目にまとめ報告いたします。

目次	ページ
1. 組織の概要	1
2. 対象範囲	1
3. 環境経営方針	2～3
4. 環境経営システム組織図	4
5. 環境経営目標	5
6. 環境経営計画	6
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績とその評価 次年度の取組み	7～10
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟の有無	11
9. 水質汚濁防止法の垂鉛対策	12
10. 代表者による全体評価と見直し結果	13
12. 「地域貢献」の状況	14
13. SDGsへの取組み	15

1. 組織の概要

項 目	内 容
事業所名	ケーピー株式会社 TEL:0855-32-4477
代表者名	取締役社長 三澤 太
所在地	島根県浜田市三隅町三隅250番地
環境保全関係の責任者及び連絡先	責任者：取締役工場長 杉本 勝則
事業内容	輸送用機械器具製造業 (金属プレス加工・金属表面処理加工・バネ加工・樹脂成型加工)
事業の規模	・年間出荷額 1,640 百万円/2019 年度実績 ・従業員数 55 名/2020 年 5 月 1 日現在 ・会社設立年月 1975 年 10 月 (株)今井 ・工場設立年月 2006 年 6 月 (株)今井 島根工場 ・工場延床面積 4,581 m² ・社名変更 2008 年 9 月 ケーピー(株)へ

2. 対象範囲

1) 認証・登録範囲

輸送用機械器具製造

(金属プレス・金属表面処理・バネ・樹脂成形加工)

2) 環境活動レポートの対象期間及び発行日

対象期間：2019年4月1日～2020年3月31日

3) 発行日：2020年6月24日

3. 環境経営方針

ケーピー株式会社基本理念

価値のある企業をつくる

変わり続ける

- ・ お客様の変化に先手に対応し、変わり続ける。

使いやすい部品を供給する

- ・ 部品に信用・信頼・心を込めて、お客様にお届けする。

人を幸せにする

- ・ 働く人々を幸せにし、お客様に貢献する。

行 動 指 針

誠 実

約束したことは大小にかかわらず誠実に実行する

時 間

5分前までに集まる

片付け

使用後は使用前よりきれいに

3. 環境経営方針

ケーピー株式会社環境経営方針

ケーピー株式会社は、地球温暖化防止が人類の共通かつ重要な問題ととらえ、取り組んでいきます。自動車部品を製作している企業として環境負荷の低減が継続的な企業活動に必須な課題であることを強く認識し、私たちは以下のように環境マネジメントに取り組んでいくことをここに宣言します。

1. 環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
2. 環境法規及び地域と取り交わした協定を順守します。
3. 次の項目を重点活動として定め、事業活動の環境負荷の低減を推進します。

- ①電気・燃料などの温室効果ガス排出量を削減します。
- ②産業廃棄物の排出量を削減し、分別を徹底し再資源化を推進します。
- ③水資源である工業用水の使用量を低減します。
- ④事務用品のグリーン購入を推進します。
- ⑤化学物質の使用量を低減します。
- ⑥製品の原材料の省資源を推進します。

4. 本方針を全従業員に周知徹底します。
5. 本方針は環境活動レポート等により、公開します。

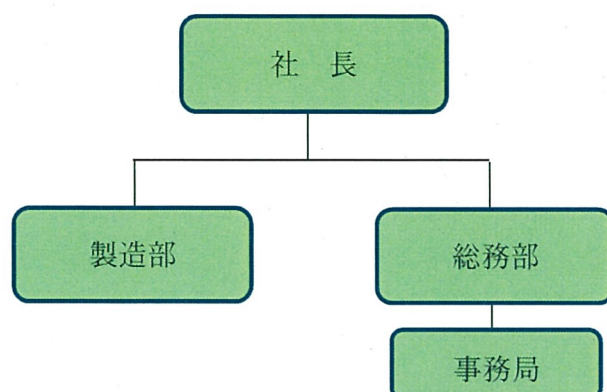
2019年4月1日

ケーピー株式会社

取締役社長 三澤 太

4. 環境経営システム組織図

更新日：2018年5月21日



	役割・責任・権限
代表者 (取締役社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な人、設備、費用、時間、技能技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者 (取締役工場長)	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境目標の設定を承認 ・環境活動レポートの確認 ・環境活動実施計画書を承認
環境事務局	・環境管理責任者、E A 2 1 推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 ・環境活動実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付)
部門長	・職場における環境経営システムの実施 ・職場における環境方針の周知 ・職場の従業員に対する教育訓練の実施 ・職場に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・職場の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・職場の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 ・環境負荷物質の計量と記録 ・省エネ、省資源施策への参画

5. 環境経営目標

環境 キーワード	環境目標項目	単位	排出実績	単年度目標	中期目標	
			2009 年	2019 年	2020 年	2021 年
			基準年度	基準比	基準比	基準比
				2~70%減	21~76%減	22~76%減
二酸化炭素 排出量	電力の削減	k W h	1,786,788	1,448,074 基準比 19.0%減	1,280,852	1,267,782
	LPガスの削減	k g	163,490 2018 基準年	160,001	128,694	127,380
	電力の CO2 削減 注)1	t-CO2	1,122.1	909.4	804.4	796.2
	LPガスの CO2 削減 注)2	t-CO2	490.0	479.6	385.7	381.8
一般・産業 廃棄物排出量	産廃（廃油・汚泥） の削減	k g	141,996 2011 基準年	88,038 基準比 38%減	79,002 基準比 44%減	78,204 基準比 45%減
	産廃（廃プラ）の 削減	k g	8,624	維持活動に 変更した。	維持活動に 変更した。	維持活動に 変更した。
	コピー用紙の 削減	枚	125,500	105,500 基準比 16%減	103,000 基準比 18%減	102,500 基準比 18%減
排水量	排水量削減	m3	102,144	31,000 基準比 70%減	24,696 基準比 76%減	24,444 基準比 76%減
化学物質	化学物質削減	k g	8,003 2010 基準年	4,722 基準比 41%減	4,722 基準比 41%減 維持活動に変更	4,722 基準比 42%減 維持活動に変更
グリーン購入	グリーン購入品 比率の増加	%	43 2010 基準年	推進活動に 変更した。	推進活動に 変更した。	推進活動に 変更した。
製品の原材料の 省資源	工程不良率を把握し 削減活動を展開する	—	—	品質管理活動 に於いて不良 率を把握し削 減活動展開	同左	同佐

※二酸化炭素排出係数

注)1 電力は中国電力「2009 年度係数 (t-CO2/kWh) 0.000628」を使用し算出した。

注)2 LPガスは燃焼時発熱量当り CO2 排出係数 0.059 (t-CO2/GJ)、単位発熱量 50.8GJ/t を使用し算出した。

※中期目標値は、単年度実績に基づき見直しを行う。

※2018 年 2 月にボイラ燃料を重油から LPガスへ転換した。

2018 年度の目標値は、2018 年度上期実績を稼働日で割り、年間稼働日を掛け合せて年間目標を設定した。

※産廃（廃油・汚泥）の削減については、2011 年 10 月に排水処理施設の増設に伴い産廃が増加した為、

2011 年 10 月～2012 年 3 月実績を基に年実績 (141,996kg) に換算した。

※廃プラは 2011 年度実績 (1,216kg) を維持する。

※グリーン購入は、「グリーン購入推進活動」に変更した。

※化学物質の削減については、生産量に大きく左右される為、当社ではコントロールが難しい為、維持活動とした。

6. 環境経営計画

環境 キーワード	環境目標項目	環境経営計画（取組内容）		
		単年計画	中期計画	
		2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素 排出量	電力の削減	・休憩時の消灯を遵守する。 ・処理機未使用時は乾燥機電源を切る。 ・スポットクーラ温度設定の遵守。 ・装置稼働前にエアー漏れ確認の励行。 ・処理2号、3号乾燥機の熱風を回収しヒータ使用を削減する。 ・遮熱塗装の実施、評価。	・休憩時の消灯を遵守する。 ・処理機未使用時は乾燥機電源を切る。 ・スポットクーラ温度設定の遵守。 ・装置稼働前にエアー漏れ確認の励行。 ・従業員への節電に対する啓蒙活動。 ・遮熱塗装の評価。	・休憩時の消灯を遵守する。 ・処理機未使用時は乾燥機電源を切る。 ・スポットクーラ温度設定の遵守。 ・装置稼働前にエアー漏れ確認の励行。 ・従業員への節電に対する啓蒙活動。
	LPガスの削減 ※2018年2月に 重油からLPガス へ転換した。	・処理1号、5号の槽周りを断熱材で囲む。 ・保温カバーの破損部は交換、付替えを行う。 ・設備立上時、稼働時に蒸気漏れを確認する。 ・設備稼働停止時にスチームを切る。 ・振動接着乾燥機5号、6号の未使用時は乾燥機の電源を切る。	・保温カバーの破損部は交換、付替えを行う。 ・設備立上時、稼働時に蒸気漏れを確認する。 ・設備稼働停止時にスチームを切る。 ・ボイラー稼働時のデータ収集を行い分析し改善に結びつける。	・保温カバーの破損部は交換、付替えを行う。 ・設備立上時、稼働時に蒸気漏れを確認する。 ・設備稼働停止時にスチームを切る。 ・ボイラー稼働時のデータ収集を行い分析し改善に結びつける。
一般・産業 廃棄物排出量	産廃（廃油・汚泥）の削減	・統合による接着剤削減を図る。 ・1号処理機の化成液を変更する。 ・プラストの廃止。 ・手動接着機の半自動化による接着液切れの向上を図る。	・処理液の気化防止による排出量の削減を図る。 ・手動接着機の半自動化による接着液切れの向上を図る。	・処理液の気化防止による排出量の削減を図る。 ・手動接着機の半自動化による接着液切れの向上を図る。
	産廃（廃プラ）の削減	・維持活動を継続する。	・維持活動を継続する。	・維持活動を継続する。
	コピー用紙の削減	・不要コピー、不要プリントの禁止。 ・必要書類の再考。 ・使用枚数の記入による意識付け。 ・会議資料配布の禁止。 （プロジェクト使用、議事録のデータ配信） ・社内配布は裏紙を使用する。 ・両面コピーを活用する。	・不要コピー、不要プリントの禁止。 ・ミスプリントを行わない為に、プリント設定を確認する。 ・必要書類の再考。 ・使用枚数の記入による意識付け。 ・会議資料配付の禁止。 （プロジェクト使用、議事録のデータ配信） ・社内配付は裏紙を使用する。 ・両面コピーを活用する。	・不要コピー、不要プリントの禁止。 ・ミスプリントを行わない為に、プリント設定を確認する。 ・必要書類の再考。 ・使用枚数の記入による意識付け。 ・会議資料配付の禁止。 （プロジェクト使用、議事録のデータ配信） ・社内配付は裏紙を使用する。 ・両面コピーを活用する。
排水量	排水量削減	・設定流量を守る。（日常点検で確認） ・洗浄室の作業時、水の出しっ放しを禁止する。 ・処理機、水洗、湯洗の清掃時、水の出しっ放しを禁止する。	・設定流量を守る。（日常点検で確認） ・洗浄室の作業時、水の出しっ放しを禁止する。 ・処理機、水洗、湯洗の清掃時、水の出しっ放しを禁止する。	・設定流量を守る。（日常点検で確認） ・洗浄室の作業時、水の出しっ放しを禁止する。 ・処理機、水洗、湯洗の清掃時、水の出しっ放しを禁止する。
化学物質	化学物質削減	・産廃（廃液・汚泥）の削減項目を展開する。	・産廃（廃液・汚泥）の削減項目を展開する。 ・維持活動とする。	・産廃（廃液・汚泥）の削減項目を展開する。 ・維持活動を継続する。
グリーン購入	グリーン購入品比率の増加	・グリーン購入品推進活動を継続する。	・グリーン購入品推進活動を継続する。	・グリーン購入品推進活動を継続する。
製品の原材料の 省資源	工程不良率を把握し削減活動を展開する	・品質管理活動に於いて不良率を把握し削減活動を展開する。	・品質管理活動に於いて不良率を把握し削減活動を展開する。	・品質管理活動に於いて不良率を把握し削減活動を展開する。

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績とその評価、次年度の取組み

評価記号 ◎・・・目標達成

△・・・あと少しで目標達成

×・・・目標未達成

環境 キーワード	環境目標項目	単位	2009年度	2019年度		差	評価
			基準年度	目標	実績		
二酸化 炭素 排出量	電力の削減	kWh	1,786,788	1,448,074	1,306,992	-141,082	◎
	電力の削減 Y-axis: 0 to 2,000,000 kWh. X-axis: '09年度(基準), '13年度, '14年度, '15年度, '16年度, '17年度, '18年度, '19年度. Legend: ■ 電力量 kWh 実績値, ● 電力量 kWh 目標値						
	電力のCO ₂ 削減	t-CO ₂	1,122.1	909.4	820.8	-88.6	◎
	電力CO₂排出量削減 Y-axis: 0 to 1,200 t-CO₂. X-axis: '09年度(基準), '13年度, '14年度, '15年度, '16年度, '17年度, '18年度, '19年度. Legend: ■ 電力CO₂排出量 t-CO₂ 実績値, ● 電力CO₂排出量 t-CO₂ 目標値						
環境経営計画 2019年度			取組結果とその評価			次年度の取組内容 2020年度	
・装置未稼働時は電源を切る。 ・休憩時の消灯を遵守する。 ・処理機未使用時は乾燥機電源を切る。 ・スポットクーラの温度設定を遵守する。 (設定値20℃以上) ・装置稼働前にエアリーク確認を励行する。 ・処理2号、3号乾燥機の熱風を回収しヒータ使用を削減する。			・装置未稼働時に電源を切ことは定着した。 ・休憩時の消灯については遵守されていた。 ・処理機未使用時に乾燥機電源を切ことは定着した。 ・スポットクーラの温度設定については真夏日、猛暑日において熱中症予防の観点から設定温度を下げた。 ・日常業務においてエアリークチェックが定着し省エネ意識の向上が図れた。 ・処理2号は設備更新に伴い、乾燥機の熱風を回収する仕様となったが、生産数の関係で装置未稼働の状態が続いた。			・装置未稼働時は電源を切る。 ・休憩時の消灯を遵守する。 ・処理機未使用時は乾燥機電源を切る。 ・スポットクーラの温度設定を遵守する。 (設定値20℃以上) ・装置稼働前にエアリーク確認を励行する。 ・遮熱塗装の評価。	
			◎ ◎ ◎ △ ◎ △				

評価記号 ◎・・・目標達成
 △・・・あと少しで目標達成
 ×・・・目標未達成

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績とその評価、次年度の取組み

環境 キーワード	環境目標項目	単位	2018年度	2019年度		差	評価
			基準年度	目標	実績		
二酸化 炭素 排出量	LPガスの削減	kg	163,490	160,001	131,320	-28,681	◎
	2018年2月より、ボイラ燃料を重油からLPガスへ転換した。 LPガスの削減 Legend: ■ LPガス使用量 kg 実績値 (Actual), ● LPガス使用量 kg 目標値 (Target)						
二酸化 炭素 排出量	LPガス CO2削減	t-CO2	490.0	479.6	393.6	-86.0	◎
	LPG CO2排出量削減 Legend: ■ LPG CO2排出量 kg-co2 実績値 (Actual), ● LPG CO2排出量 kg-co2 目標値 (Target)						
環境経営計画 2019年度			取組結果とその評価			次年度の取組内容 2020年度	
・保温カバーの破損部は交換、付替えを行う。 ・設備立上時、稼働時に蒸気漏れを確認する。 ・設備稼働停止時にスチームを切る。 ・振動接着乾燥機5号、6号の未使用時は乾燥機の電源を切る。			・保温カバーの破損部はその都度、交換、付替えを行った。 ・日常業務において蒸気漏れ確認が定着し、省エネ意識の向上が図れた。 ・設備停止時にスチームを切る。振動接着機未使用時は乾燥機の電源を切ることは遵守された。 ・振動接着乾燥機5号、6号の未使用時は乾燥機機の電源を切ることは遵守された。			◎ 保温カバーの破損部は交換、付替えを行う。 ◎ 設備立上時、稼働時に蒸気漏れを確認する。 ◎ 設備稼働停止時にスチームを切る。 ◎ 振動接着乾燥機5号、6号の未使用時は乾燥機の電源を切る。	

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績とその評価、次年度の取組み

評価記号 ◎・・・目標達成

△・・・あと少しで目標達成

×・・・目標未達成

環境 キーワード	環境目標項目	単位	2011年度	2019年度		差	評価																										
			基準年度	目標	実績																												
一般・ 産業 廃棄物 排出量	産廃 (排油・汚泥の削減)	k g	141,996	88,038	79,800	-8,238	◎																										
	産廃(排油・汚泥)の削減 <table><caption>産廃(排油・汚泥)の削減実績</caption><thead><tr><th>年度</th><th>'11年度(基準)</th><th>'13年度</th><th>'14年度</th><th>'15年度</th><th>'16年度</th><th>'17年度</th><th>'18年度</th><th>'19年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>産廃(廃油・汚泥)排出量 k g 実績値</td><td>141,996</td><td>105,000</td><td>100,000</td><td>100,000</td><td>95,000</td><td>95,000</td><td>90,000</td><td>80,000</td></tr><tr><td>産廃(廃油・汚泥)排出量 k g 目標値</td><td>-</td><td>140,000</td><td>110,000</td><td>105,000</td><td>100,000</td><td>95,000</td><td>90,000</td><td>85,000</td></tr></tbody></table>							年度	'11年度(基準)	'13年度	'14年度	'15年度	'16年度	'17年度	'18年度	'19年度	産廃(廃油・汚泥)排出量 k g 実績値	141,996	105,000	100,000	100,000	95,000	95,000	90,000	80,000	産廃(廃油・汚泥)排出量 k g 目標値	-	140,000	110,000	105,000	100,000	95,000	90,000
年度	'11年度(基準)	'13年度	'14年度	'15年度	'16年度	'17年度	'18年度	'19年度																									
産廃(廃油・汚泥)排出量 k g 実績値	141,996	105,000	100,000	100,000	95,000	95,000	90,000	80,000																									
産廃(廃油・汚泥)排出量 k g 目標値	-	140,000	110,000	105,000	100,000	95,000	90,000	85,000																									
環境経営計画 2019年度			取組結果とその評価			次年度の取組内容 2020年度																											
・手動接着機の半自動化による接着液切れの向上を図る。 ・統合による接着剤の削減を図る。 ・1号処理機の化成液を変更する。			・手動接着機の半自動化による接着液切れの向上は図れた。 ・統合による接着剤の削減は客先要求で統合は進まなかった。 ・1号処理機の化成液変更は客先要求で進まなかった。			◎ ・手動接着機の半自動化による接着液切れの向上を図る。 × ・処理液の気化防止による排出量の削減を図る。 × ・統合による接着剤の削減を図る。																											

環境 キーワード	環境目標項目	単位	2009年度	2019年度		差	評価																										
			基準年度	目標	実績																												
一般・ 産業 廃棄物 排出量	コピー用紙の削減	枚	125,500	105,500	104,000	-1,500	◎																										
	コピー用紙の削減 <table><caption>コピー用紙の削減実績</caption><thead><tr><th>年度</th><th>'09年度(基準)</th><th>'13年度</th><th>'14年度</th><th>'15年度</th><th>'16年度</th><th>'17年度</th><th>'18年度</th><th>'19年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>コピー用紙使用量 枚 実績値</td><td>125,500</td><td>110,000</td><td>105,000</td><td>120,000</td><td>115,000</td><td>110,000</td><td>105,000</td><td>104,000</td></tr><tr><td>コピー用紙使用量 枚 目標値</td><td>-</td><td>115,000</td><td>110,000</td><td>120,000</td><td>115,000</td><td>110,000</td><td>105,000</td><td>100,000</td></tr></tbody></table>							年度	'09年度(基準)	'13年度	'14年度	'15年度	'16年度	'17年度	'18年度	'19年度	コピー用紙使用量 枚 実績値	125,500	110,000	105,000	120,000	115,000	110,000	105,000	104,000	コピー用紙使用量 枚 目標値	-	115,000	110,000	120,000	115,000	110,000	105,000
年度	'09年度(基準)	'13年度	'14年度	'15年度	'16年度	'17年度	'18年度	'19年度																									
コピー用紙使用量 枚 実績値	125,500	110,000	105,000	120,000	115,000	110,000	105,000	104,000																									
コピー用紙使用量 枚 目標値	-	115,000	110,000	120,000	115,000	110,000	105,000	100,000																									
環境経営計画 2019年度			取組結果とその評価			次年度の取組内容 2020年度																											
・不要コピー、不要プリントの禁止。 ・使用枚数の記入による意識付け。 ・社内配付は裏紙を使用する。 ・両面コピーを活用する。 ・会議資料配付の禁止。 (プロジェクト使用、議事録のデータ配付)			◎ 不要コピー、不要プリントの禁止は遵守された。 ◎ 使用枚数の記入による意識付けは図られた。 △ 社内配付はA4に関しては裏紙使用が図られたが、A3は用紙が無く新品使用となった。 △ 標準書類、作業指導票に関しては掲示する為、片面コピーとなった。 ◎ プロジェクトの使用が図られ、議事録は電子データで配信された。			◎ ・不要コピー、不要プリントの禁止。 ◎ ・使用枚数の記入による意識付け。 △ ・社内配付は裏紙を使用する。 △ ・両面コピーを活用する。 △ ・会議資料の配布禁止。 (プロジェクト使用、議事録のデータ配付) ◎ ・ミスプリントを行わない為にプリント設定を確認する。																											

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績とその評価、次年度の取組み

評価記号 ◎・・・目標達成
 △・・・あと少しで目標達成
 ×・・・目標未達成

環境 キーワード	環境目標項目	単位	2009年度	2019年度		差	評価																										
			基準年度	目標	実績																												
排水量	排水量の削減	m3	102,144	31,000	25,200	-5,800	◎																										
	排水量の削減 <table><caption>排水量の削減実績 (m3)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>排水量 m3 実績値</th><th>排水量 m3 目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>'09年度(基準)</td><td>102,144</td><td>-</td></tr><tr><td>'13年度</td><td>58,000</td><td>70,000</td></tr><tr><td>'14年度</td><td>55,000</td><td>60,000</td></tr><tr><td>'15年度</td><td>52,000</td><td>58,000</td></tr><tr><td>'16年度</td><td>48,000</td><td>50,000</td></tr><tr><td>'17年度</td><td>45,000</td><td>45,000</td></tr><tr><td>'18年度</td><td>35,000</td><td>40,000</td></tr><tr><td>'19年度</td><td>25,200</td><td>31,000</td></tr></tbody></table>							年度	排水量 m3 実績値	排水量 m3 目標値	'09年度(基準)	102,144	-	'13年度	58,000	70,000	'14年度	55,000	60,000	'15年度	52,000	58,000	'16年度	48,000	50,000	'17年度	45,000	45,000	'18年度	35,000	40,000	'19年度	25,200
年度	排水量 m3 実績値	排水量 m3 目標値																															
'09年度(基準)	102,144	-																															
'13年度	58,000	70,000																															
'14年度	55,000	60,000																															
'15年度	52,000	58,000																															
'16年度	48,000	50,000																															
'17年度	45,000	45,000																															
'18年度	35,000	40,000																															
'19年度	25,200	31,000																															
環境経営計画 2019年度			取組結果とその評価		次年度の取組内容 2020年度																												
・流量を守る。 (日常点検で確認する) ・洗浄室の作業で水を出しっぱなしにしない。 ・処理機、水洗、湯洗の清掃時に水を出しっぱなしにしない。			・日常点検で流量の確認を実施した。 ・洗浄室の作業で水の出しっぱなしにしないことは遵守された。 ・処理機、水洗、湯洗の清掃時に水を出しっぱなしにしないことは遵守された。 ・装置終了後に水バルブを閉めていたが、使用しなくなった槽から一つずつ閉めるようにした。 ・脱脂の水補給を脱脂後の水洗槽から水を取り補充するようにした。		・流量を守る。 (日常点検で確認する) ・洗浄室の作業で水を出しっぱなしにしない。 ・処理機、水洗、湯洗の清掃時に水を出しっぱなしにしない。 ・水バルブの閉め方を使用しなくなった槽から順次閉める。 ・脱脂の水補給を脱脂後の水洗槽から水を取り補充する。																												

環境 キーワード	環境目標項目	単位	2009年度	2018年度		差	評価																										
			基準年度	目標	実績																												
化学物質	化学物質の削減	kg	8,003	4,722	4,034	-688	◎																										
	化学物質の削減 <table><caption>化学物質の削減実績 (kg)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>化学物質使用量 kg 実績値</th><th>化学物質使用量 kg 目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>'10年度(基準)</td><td>8,003</td><td>-</td></tr><tr><td>'13年度</td><td>5,500</td><td>7,500</td></tr><tr><td>'14年度</td><td>5,200</td><td>5,500</td></tr><tr><td>'15年度</td><td>5,000</td><td>5,200</td></tr><tr><td>'16年度</td><td>4,800</td><td>4,800</td></tr><tr><td>'17年度</td><td>4,700</td><td>4,700</td></tr><tr><td>'18年度</td><td>4,600</td><td>4,600</td></tr><tr><td>'19年度</td><td>4,034</td><td>4,722</td></tr></tbody></table>							年度	化学物質使用量 kg 実績値	化学物質使用量 kg 目標値	'10年度(基準)	8,003	-	'13年度	5,500	7,500	'14年度	5,200	5,500	'15年度	5,000	5,200	'16年度	4,800	4,800	'17年度	4,700	4,700	'18年度	4,600	4,600	'19年度	4,034
年度	化学物質使用量 kg 実績値	化学物質使用量 kg 目標値																															
'10年度(基準)	8,003	-																															
'13年度	5,500	7,500																															
'14年度	5,200	5,500																															
'15年度	5,000	5,200																															
'16年度	4,800	4,800																															
'17年度	4,700	4,700																															
'18年度	4,600	4,600																															
'19年度	4,034	4,722																															
環境経営計画 2019年度			取組結果とその評価		次年度の取組内容 2020年度																												
・産廃（廃液・汚泥）の削減項目を展開する。			・産廃（廃液・汚泥）の取組みを展開した。		・産廃（廃液・汚泥）の削減項目を展開する。 ◆化学物質の削減活動は生産量の変動に大きく左右される為、当社でのコントロールが難しく維持活動とする。																												

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制とその順守状況は次のとおりです。

法 規 名	該当する項目	評 価 内 容	遵守状況
水質汚濁防止法	表面処理設備	・排水処理施設稼働。 ・1回/月の工場排水の水質検査を実施し基準値内を確認した。 ・浜田保健所へ水質検査結果を報告した。	○
労働安全衛生法	有機溶剤・特定化学物質	・局所排気設備稼働。 ・2回/年の有機溶剤濃度を測定し基準値内を確認した。 ・該当作業者の特殊健康診断を2回/年実施した。	○
消防法	ボイラー・危険物	・危険物取扱保安監督者選任 ・ボイラー取扱技能者選任	○
廃棄物処理法	産業廃棄物 (廃油・表面処理スラッジ)	・産業廃棄物処理業者と産業廃棄物処理委託契約書の取交し実施。 ・産業廃棄物処理に関する許可証受領。 ・産業廃棄物回収時のマニフェスト発行及び回収確認実施。 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告を県知事に提出した。	○
三隅町との環境保全に関する協定	工場排水・工場騒音	・三隅支所へ水質検査結果を1回/年報告実施。 ・工場周辺の騒音測定1回/年実施し基準値内を確認し結果を三隅支所へ1回/年報告した。	○
化学物質排出把握管理促進法	第一種指定化学物質ごとの排出量及び移動量	・第一種指定化学物質ごとの排出量及び移動量を1回/月把握した。 ・P R T R法に亜鉛の水溶液化合物、キシレン、フェノール、エチルベンゼン、セロソブル、ポリ(オキシエチレン)、ニッケル化合物が該当するが、基準量以下である。	○
特別管理産業廃棄物管理責任者	特別管理産業廃棄物管理責任者の設置	・特別管理産業廃棄物管理責任者の資格取得者を管理責任者として設置している。	○

【 評価 】

- 1) 環境関連法規制などの遵守状況の定期評価の結果、環境法規制などの逸脱はありません。
- 2) 保健所による採水検査が実施されましたが、すべての項目で規制を達成しました。
- 3) 過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

9. 水質汚濁防止法の亜鉛対策

2011年12月11日以降の亜鉛規制に適合する為、排水処理施設を新設し、2011年9月末より稼動を開始した。

亜鉛濃度排水基準

2mg/L以下

2019年度 亜鉛濃度測定結果
平均0.4mg/L
基準クリアしている。



《緊急事態（薬品漏洩）対応訓練の実施状況》



【緊急時対応工具箱の中身の点検】



【保護具着用の実演】



【排水溝に土嚢を設置する訓練】



【排水処理施設の操作盤の前で緊急停止方法について説明を受ける】

10. 代表者による全体評価と見直し結果

《総括》

1. 取組状況の評価

法的要求事項は遵守されており、今後も遵守すること。

2. 目標の達成度

No.	項 目	計 画		単位	実 績	単位	判定
1	電力の削減、 電力 CO2 の削減	電力	1, 448, 074	kWh	1, 306, 992	kWh	○
		CO2	909. 4. 0	t-CO2	820. 8	t-CO2	○
2	L P ガスの削減、 L P ガス CO2 の削減	LPG	160, 001	Kg	131, 320	Kg	○
		CO2	479. 6	t-CO2	393. 6	t-CO2	○
3	産廃（廃液・汚泥）の削減		88, 038	Kg	79, 800	Kg	○
4	コピー用紙の削減		105, 500	枚	104, 000	枚	○
5	工業用水の削減		31, 000	m3	25, 200	m3	○
6	化学物質の削減		4, 722	Kg	4, 032	Kg	○
7	製品の原材料の省資源	不良率低減活動を展開する		—	不良率低減活動を展開した	—	○

- ・2019年度は2018年度実績値の△2%～5%とした。
(2018年度目標未達成項目の内一部は、2019年度もその目標値を継続した)
- ・7項目の活動に対し7項目共、目標達成した。
下期の生産減少に伴う勤務体系変更（2直を1直化等）により各エネルギーの削減につながった。

代表者コメント：

- ①目標達成に向けての活動は課員全員で行うこと。
- ②新規活動アイテムを抽出すること。
- ③月別の料金（例：電力料金、ガス料金等）も把握すること。

3. システムの各要素

- ・スピード感を持って活動すること。
- ・コロナウイルスの影響で休業による売上減となる為、改善によるエネルギー関連の支出を抑える必要がある。

《地域貢献》

ケーピー株式会社正門前の市道約100m範囲の排水溝に溜まった土砂を社員全員で撤去した。



《企業PR：山陰経済ウイークリーに掲載》

エコアクション21取得から10年経ちました！



EA21 認定・取次事業所の紹介

※名称：ケーピー株式会社
※業：建設業（土木建築業）
（企業プレス工・企業建築工・企業電気工・企業機械工）

当社は、環境が企業活動の土壌であり、持続可能な社会を実現するために、環境対策を最優先事項として取り組んでいます。2009年にエコアクション21を導入し、以来、環境管理の高度化を図ってきました。2019年には、エコアクション21の認定を受け、取次事業所の地位を認められました。これは、当社の環境管理に対する取り組みが、第三者機関の審査を経て認められたことを示しています。今後も、環境対策を推進し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



エコアクション21
環境管理システム

EA21は環境管理の標準的なシステムです。

エコアクション21地域事務局 

<http://www2.cresstalk.or.jp/ea21/>

鳥取県中小企業団体中央会

〒690-0806 鳥取市東町1-4 直工金庫4F
 電話0852-21-4809 FAX0852-26-8885

《SDGsへの取り組み》

2015年 国連サミットでのSDGs（持続可能な開発目標）の採択。

2017年 企業が持続可能な社会の実現を牽引する役割を担う（経団連行動憲章改定）など国内外でSDGsに関する取組が加速されています。

当社としてもエコアクション21を展開する中、SDGsとの関連を考えながら活動を進めます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

